

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境					0.30		-	2.7
1 音環境				3.5	0.15	-	-	3.5
1.1 室内騒音レベル		—		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音				3.8	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		—		3.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能		Dr=45		5.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		—		-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		—		-	-	-	-	
1.3 吸音		床、壁、天井のうち、二面に吸音材の使用がある		4.0	0.20	-	-	
2 温熱環境				2.2	0.35	-	-	2.2
2.1 室温制御				3.5	0.50	-	-	
1 室温		—		3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能		室内への熱の侵入に対して十分な配慮をしている		5.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性		—		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		—		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		—		1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				2.7	0.25	-	-	2.7
3.1 昼光利用				1.8	0.30	-	-	
1 昼光率		—		1.0	0.60	-	-	
2 方位別開口		—		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		—		3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		—		3.0	1.00	-	-	
3.3 照度		照度500lx		4.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		—		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境				2.9	0.25	-	-	2.9
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面に使用している		4.0	1.00	-	-	
4.2 換気				2.3	0.30	-	-	
1 換気量		—		3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能		—		1.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		—		3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理				1.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		—		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		—		1.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能				—	0.30	-	-	3.5
1 機能性				3.1	0.40	-	-	3.1
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		—		3.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応		—		3.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画		—		3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		天井高3.0mかつ屋外の情報を得られる窓がある		5.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース		—		3.0	0.33	-	-	
3 内装計画		—		1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い建材を使用している		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		—		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.3	0.30	-	-	3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		—		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		—		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				4.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		—		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		外壁にサンドイッチ金属パネルを採用		5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床に浸透性表面強化剤を採用		5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		—		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水(VLP)、排水(VP)、冷媒(CU)、Eは不使用		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		—		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				3.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		—		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		—		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		—		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA		4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		—		3.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性			4.2	0.30	-	-	4.2
	3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	レイアウト変更等に対応できる計画	4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		4500N/㎡以上を確保	5.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性	－	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	－	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	ケーブルラックにより仕上材を痛めることなく更新・修繕可能	5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	ケーブルラックにより仕上材を痛めることなく更新・修繕可能	5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	－	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	－	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				－	0.40	-	-	3.1
1	生物環境の保全と創出		－	3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮		植栽により、良好な景観を形成している	4.0	0.40	-	-	4.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	－	2.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	－	2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-		-	3.8
LR1 エネルギー				－	0.40	-	-	4.1
1	建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m 0.67	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		－	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		BEI _m 0.41	4.3	0.50	-	-	4.3
	集合住宅以外の評価			4.3	1.00	-	-	
	集合住宅の評価				-	-	-	
4	効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
	集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	主要な用途別エネルギー消費の内訳を把握して、消費特性の傾向把握・分析を行い、妥当性の確認が可能	4.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	－	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価				-	-	-	
	4.1	モニタリング	－		-	-	-	
	4.2	運用管理体制	－		-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				－	0.30	-	-	3.6
1	水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	省水型機器等を過半以上に採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	－	3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	－	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
	2.1	材料使用量の削減	使用材料の削減に寄与する工法を採用	4.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	－	3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	－	3.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	グリーン購入法適合品とエコマーク商品の採用	5.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	－	2.0	0.10	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	壁と天井にLGS下地、床にOAフロアを採用	5.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	－	3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
	1	消火剤	－	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつ、GWP値の低い断熱材を採用	4.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	－	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				－	0.30	-	-	3.6
1	地球温暖化への配慮		LCCO ₂ の低減率28%	4.1	0.33	-	-	4.1
2	地域環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
	2.1	大気汚染防止	燃焼機器の採用はない。	5.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	－	3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	－	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	－	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	－	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	－	2.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	－	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	－	-	-	-	-	
	3	悪臭	－	-	-	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	－	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	－	-	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制	－	3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	高効率な照明の採用と適切な範囲の照明計画とした	5.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	－	3.0	0.30	-	-	

